

都市再生整備計画 (精算報告)

鹿沼中央地区

栃木県 鹿沼市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	鹿沼市	地区名	鹿沼中央地区	面積	7.2 ha
計画期間	平成17年度 ~ 平成19年度			交付期間	平成17年度 ~ 平成19年度		

目標	地
<p>区の特性と資源を活かした魅力ある市街地整備による中心市街地の活性化 区画整理地区内外の調和の取れた道路整備による交通安全と交通アクセスの強化</p>	

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>本地区は、戦国時代には城下町、江戸時代には日光へ通じる例幣使街道の宿場町として、本市の中心部として発展してきたが、近年は都市基盤の遅れから、人口減少と高齢化が進行し、商業地としての機能と魅力が低下傾向にある。平成5年に策定された「鹿沼市中心市街地活性化計画」を基に、平成8年度に下横町周辺土地区画整理事業の事業認可、平成9年度にふるさとの顔づくりモデル事業地区の指定を受け、公共施設の整備改善と高質化及び地区特性を活かした都市基盤の整備を進め、平成18年度の換地処分を目標に実施している。</p> <p>また、平成12年度から平成16年度において、本地区を含む19.5haについてまちづくり総合支援事業を導入し、区画道路、街区公園、街路、高質空間形成施設、地域生活基盤施設等の整備を行い、中心市街地の活性化を図ってきた。しかし、下横町周辺土地区画整理事業は換地設計や移転計画の輻輳から当初計画から4年の遅れを生じたが、移転計画及び整備計画も順調となり、平成18年度の換地処分も確実となった。道路特会の区画整理事業による骨格となる幹線街路の整備に合わせ、鹿沼の歴史と緑を活かした公園の整備、区画整理地区に隣接する道路の整備による地区内外の交通安全と交通アクセス強化の必要性が生じている。</p>	
課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の「まち中交流プラザ」と隣接する横まち公園を整備したが、地区外交流が増えるお祭り等のイベント開催時には狭く、地区内外の交流促進による中心市街地の活性化のための賑わい創出へと結び付いていない。高齢者、幼少者に対応した緑や歴史・文化に触れることができる憩いの空間とともに交流拠点広場も創出し、住んでも訪れても楽しいまちづくりを要望されている。 ・地区界に位置する2路線の市道では、地区内外の道路整備の整合が図れず交通安全が確保されず、非常に危険である。 	
将来ビジョン(中長期)	
<p>(総合計画における将来ビジョン)</p> <p>多くの人々が行き交う魅力的な市街地の基盤形成 潤いのあるまちづくりのための緑のオープンスペース(公園等)の整備 郷土の歴史、文化の継承と活用</p>	<p>(中心市街地活性化基本計画における目標)</p> <p>住み続けたい都心居住空間の整備 人に優しい都市空間の整備 歴史・文化・自然等の個性を活かした都市空間の整備</p> <p>市民活動による活性化の推進</p>

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
a 交通量	台・人/日	市道5061号線(人・自転車・自動車)	区画整理地区隣接道路を整備し、地区内外の交流軸を確立する	3700	H16	4000 H19	
b 地区内居住人口	人/地区	下横町外4町の居住者人口	居住環境の改善による地区内の人口増加を図る	947	H16	980 H19	
c 中心市街地の活性化	回/年	まち中交流プラザイベントホール利用回数	交流拠点広場と交流軸の整備による賑わいの創出	240	H15	260 H19	
d							
e							

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を活かした、緑と安らぎのある街づくりの推進 ・交流拠点空間創出による賑わいの創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・たまち公園整備(基幹事業) ・石橋のさと整備(基幹事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理地区内外の調和の取れた道路整備による安全なまちづくり ・来街者への魅力を創出し、人の回遊性とにぎわいのある街の再生 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道5060号線(区画道路)新設(基幹事業) ・市道5061号線(区画道路)改築(基幹事業) ・電線共同溝引込管路、連係管路整備(基幹事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・官民一体となった住民参加市街地整備の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・街並みづくり事業補助金(提案事業)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり研究会活動助成、民間のまちづくりの検討組織である研究会活動助成により賑わい創出ばかりでなく、人材育成も積極的に進める。 ・景観の形成 魅力ある都市空間の形成を目指し、土地区画整理事業では「ふるさとの顔づくりモデル事業」を導入するとともに地区の電線類の地中化も実施する。また、地区計画や街づくり協定、建築物誘導ガイドラインを策定し、「街並みづくり事業補助金」も導入し、積極的な景観形成に努めている。 	

フォローアップ状況

様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	交通量	台・人/日	3,700	4,000	1,601	確定 見込み	×	あり なし		20年5月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標2	地区内居住者人口	人/地区	947	980	994	確定 見込み		あり なし	1083	20年4月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標3	中心市街地の活性化(まちなか交流プラザ利用回数)	回/年	240	260	307	確定 見込み		あり なし	312	20年5月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市計画道路3・4・202古峰原宮通りの交通量	台・人/日	-	/	4,747	確定 見込み	/	/		年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/		年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		年 月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	平成17年4月策定の「中心市街地新拠点整備計画」による鹿沼の歴史を活かした観光交流所点を整備し、回遊できるまちづくりにより賑わいを創出	平成19年3月まちづくり交付金新規地区「新拠点地区」として事業化し整備を進めている。		
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

様式1 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
		年 月	
		年 月	
		年 月	
		年 月	